

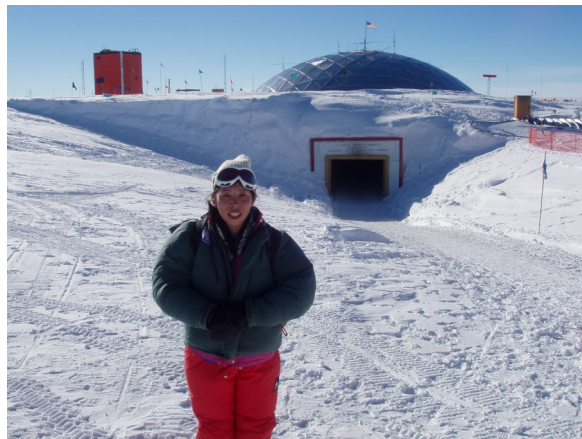
# 南極点到達冒険紀行 2003年1月2日～12日

史上461番目に南極点到達！

後藤昌代〔東京都練馬区在住〕

南極大陸は、白い氷や雪で覆われた世界最大の大陸である。また鉱物などが多量に埋まっている資源の宝庫でもある。私にとっては、神秘的で未知の大陸である。面積は1400万平方キロ。地球の全陸地面積の8.9%を占めている。南米から約1000キロ、オーストラリアから約2250キロ、南アフリカから約3600キロの距離である。

私は南極大陸へ3回行き、2003年1月7日、南極点に史上461番目に立った。史上500人以内に入った快挙である。そこまでの道のりはあまりにも長かった。しかし南極点に立つと、それまでの苦労は一瞬にして消え去った。南極点とはそれほどすばらしい場所だ。その後、アムンゼン・スコット米国南極点観測基地に招待され、南極点観測に関する説明を受け、基地の視察も行った。人生、またとない体験である。



アムンゼン・スコット米国南極点観測基地



南極点到達

人類初南極点に到達したのは、ノルウェー探検家のロアルド・アムンゼンである。1911年12月14日のことだ。時を同じくして英国海軍士官であるロバート・ファルコン・スコットは、1912年1月17日に南極点に到達したが、アムンゼン到着から1か月後であることを知り失意に覆われた。帰途、遭難し死亡している。

私は、南極点に立つと、ものすごいエネルギーを感じた。引力で引きつけられるというか、足が地に磁石で吸いつけられたような重みを感じた。地球を制覇したようにさえ感じ、気分爽快になった。またその場所は、「点」なので、空間と時間の概念が存在しない不思議な世界だ。すべての方向が北向きでもある。そして南極点の上をぐるりと回れば、3秒ほどで世界一周ができてしまう。これも点ならではの醍醐味だ。そして私は、南極点で日本の国旗を見た。近くに南極地域

の平和的利用を定めた「南極大陸条約」の記念碑、セレモニアルポールがある。その周りに最初の署名国（12か国）の国旗が立ち並んでいる。日本も最初の署名国なので、ここに日の丸があるのだ。平和を重んじる日本が一早く南極条約に加盟したことに、私は深く感銘した。



## クイズ

1. 南極点は毎年、約何メートル動きますか？  
A. 動かない B. 3メートル動く C. 10メートル動く
2. 南極点は標高何メートルですか？  
A. 約1900m B. 約2800m C. 約3400m
3. 南極大陸の氷がすべて溶けたら、海面は何メートル上昇しますか。  
A. 約30m B. 約60m C. 約90m

南極点は、多くの冒険家達が命をかけて到達を願った地点だ。地球の真下という魅力的な場所は、今でも冒険心をかき立てる。南極点に立つと、全身に物凄いエネルギーを感じ、体が地球の中心へと吸い込まれるような強い重力を感じる。そこは立った人にしか味わえない、未知なる世界である。

後藤昌代

南極大陸の写真や映像は、私のホームページやYouTubeで見られます。ぜひともご覧ください。

ホームページ：<http://www.masayogoto.com> 南極大陸写真集：<http://www.masayogoto.com/southpole.html>

私のYouTubeリンク：<http://www.youtube.com/user/mgoto5103/videos>

email: [masayo510@jati5.com](mailto:masayo510@jati5.com)